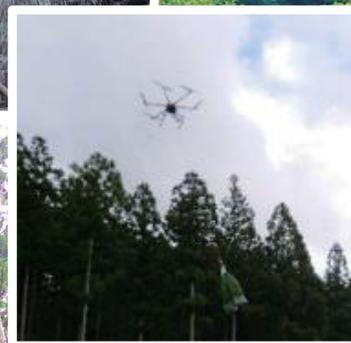
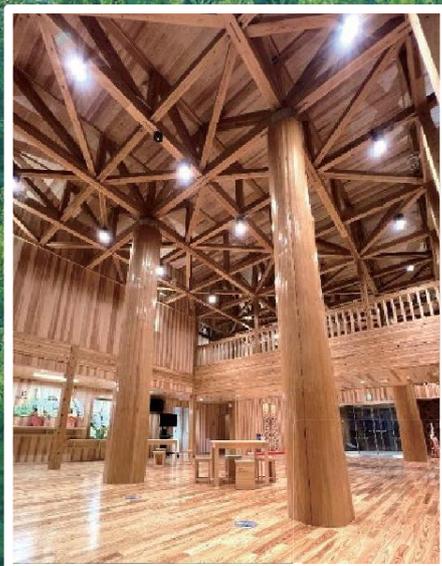


とちぎ森林創生ビジョン

～ 森林資源を活用した成長産業化
公益的森づくりへの貢献 ～



計画期間：令和8（2026）年度～令和12（2030）年度



令和8（2026）年3月
栃木県

序章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

本県の森林が本格的な利用期を迎え、国産材の安定供給体制の構築による林業・木材産業の成長産業化や森林の公益的機能の持続的かつ高度発揮の実現に向けた、基本理念や重点的に行う施策を示し、とちぎの森林を元気な姿で未来へと引き継いでいくため策定

2 計画の性格と役割

- 本県の森林・林業・木材産業に関する基本的かつ総合的な計画
- 林業・木材産業の強い連携体制による成長産業化を図るための指針
- 森林の有する公益的機能を高度に発揮する元気な森づくりを行うための指針

3 基本理念

～とちぎの元気な森を100年先の未来へ～

第1章 森林・林業・木材産業をめぐる情勢

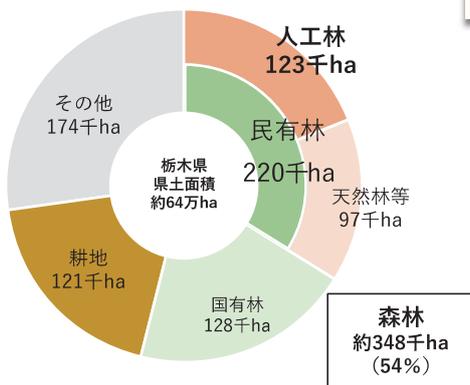
- 社会情勢（外国為替の変動、原油価格の高騰、物価の急上昇 等）
- 国・県の動き（カーボンニュートラル、花粉発生源対策、都市の木造化推進法 等）
- 森林・林業・木材産業の変遷 等

第2章 森林・林業・木材産業の現状・課題

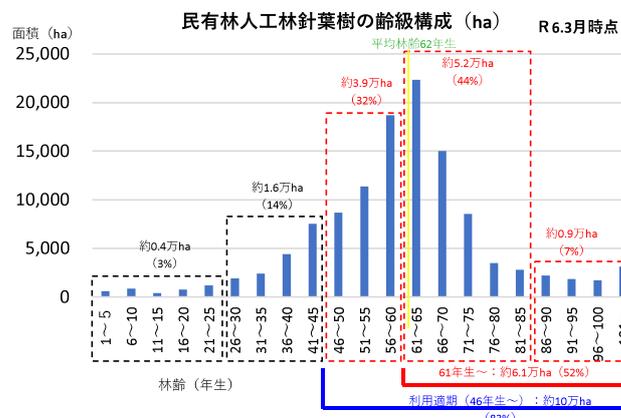
■とちぎの森林資源

- 【現状】
- 森林面積：約348千ha（県土面積の約54%）
 - 人工林針葉樹の齢級構成面積：10齢級（46～50年生）以上約8割
 - 民有林は220千ha、国有林は128千ha
 - 13齢級（61～65年生）が偏在
 - 民有林の56%がスギなどの人工林
 - いびつな非持続的林齢構成

本県の森林面積



○蓄積量
〈生産能力ポテンシャル〉
皆伐 年間2,000ha
(出材 年間100万m³超)



民有林人工林針葉樹計12万ha
スギ 6.9万ha
ヒノキ 4.5万ha

生産状況
スギ 75～80%
ヒノキ 20～25%

【課題】

利用期を迎えた森林資源の循環利用
➤ **林業・木材産業の成長産業化・森林の公益的機能の高度発揮の実現**

森林資源の循環利用



■とちぎの林業・木材産業

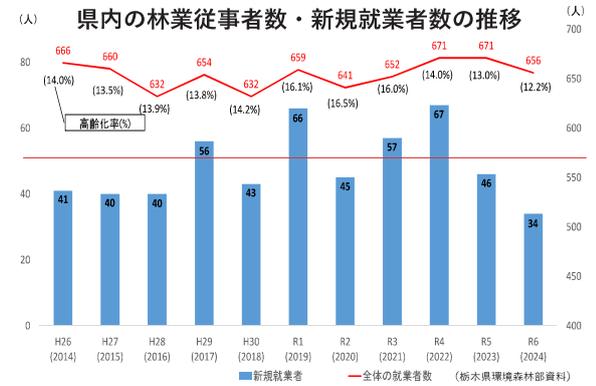
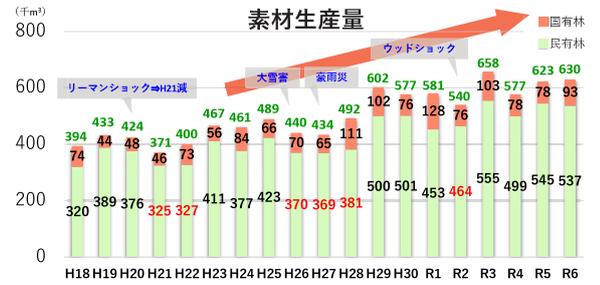
【現状】

- 【川上】**素材生産**：増加傾向（R5 約62万³）
森林資源の蓄積量が増加していることから更なる素材生産が可能
- 【川中】**製材品出荷**：横ばい（R5 約27万³）
※人工乾燥材出荷量：増加傾向
「大規模化による大量生産型」「差別化による少量生産」二極化
- 【川下】**新設住宅着工戸数**：減少傾向（R6 約9千戸）
木造軸組工法：一棟あたり木材使用量（構造材）の7割が外材・集成材主流
非住宅分野：新たな需要先として期待
公共：建築物の木造化を積極的推進
民間：脱炭素社会への関心の高まり等により木造・木質化が活発化
- 【川上・川中・川下】の**需給体制**
事業者間での情報共有の不足と、それによる需給ミスマッチの発生

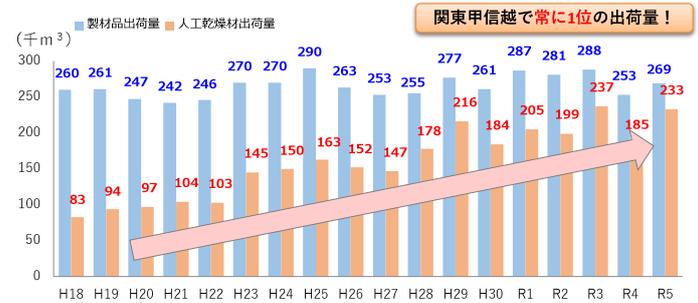
【課題】

- 【川上】利用期を迎えた森林資源の更なる活用
➢**素材生産力の強化**
 - 【川中】多様化する需要への対応
➢**とちぎ材製品の競争力強化**
 - 【川下】住宅以外の木材利用拡大
➢**出口対策の強化**
- 増大・多様化する素材・製品を支える人材確保
➢**林業・木材産業人材づくり**
- 最大限の労働生産性と安全性の発揮
➢**林業・木材産業への未来技術推進**

安定需給体制の強化



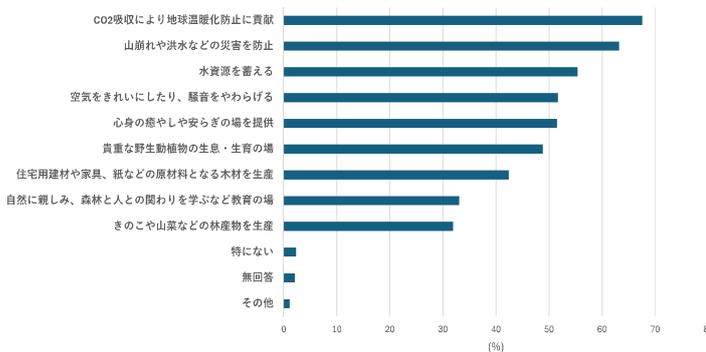
製材品出荷量 (国産材)



■公益的な森づくり

【現状】

- 民有林人工林の年齢構成：高齢化
森林資源の高齢化等により公益的機能の低下危惧
- 森林に期待する働き：CO2吸収、災害防止、水源かん養、癒やし等



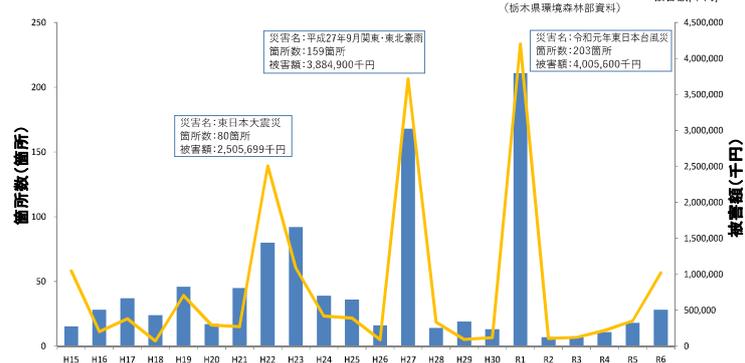
※内閣府による世論調査（R5）結果を加工

【課題】

- 森林の公益的機能の高度発揮
➢森林の若返りによるCO₂吸収源対策など**多様で健全な森づくり**
➢治山事業や獣害対策による**県民を守る安全・安心な森づくり**

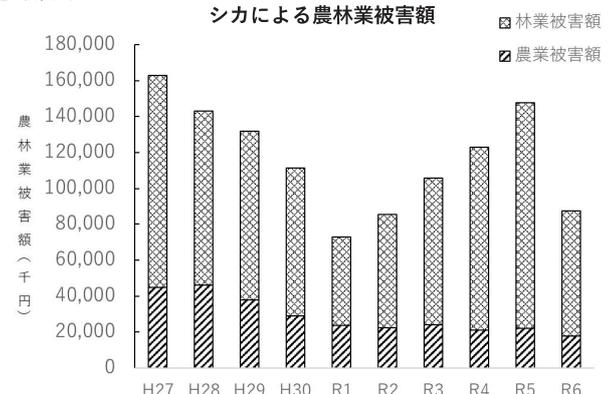
- 災害発生件数：増加傾向（H27・R1 激甚災害発生）
激甚化・頻発化する集中豪雨や大型化する台風等により短時間強雨の回数及び線状降水帯による総降雨量が増加

栃木県の山地災害発生状況（H15～R6年度）



- 野生獣による農林業被害額：増加傾向
森林の若返りを図るための植栽後に被害が発生しており再造林の意欲低下

シカによる農林業被害額



基本目標	重点施策 共通施策		具体的取組（個別施策）
林業・木材産業の成長産業化	経済型 林業・木材産業の推進		<ul style="list-style-type: none"> ○本質的な森林経営計画の樹立 ○施業集約化の推進 ○伐採方法（皆伐・間伐等）の改革 ○造林保育の改革 ○種苗・苗木生産の計画的推進
			<ul style="list-style-type: none"> ○製材工場の多様化（大規模化・高付加価値化） ○多品目化・商品力強化 ○大径材活用 ○JAS製材品の生産供給強化 ○木材研究施設の強化 ○持続的森林管理を付加価値化する取組
			<ul style="list-style-type: none"> ○住宅・非住宅分野における利用促進 ○木材コーディネーターの育成と活用 ○「建築物木材利用促進協定」の締結・制度の活用促進 ○新たな販路開拓（国内・海外） ○木質資源によるエネルギー利用
			<ul style="list-style-type: none"> ○安定需給体制の強化
			<ul style="list-style-type: none"> ○生産振興（経営環境の変化に対応した生産体制の確立） ○販売促進（選ばれる特用林産物づくりへの取組） ○新たなステージを見据えた放射性物質対策
			<ul style="list-style-type: none"> ○公益的機能の維持増進に向けた適切な森づくり ○森林吸収源対策 ○全国植樹祭に向けた森づくり活動の推進 ○里地里山環境保全・利活用
森林の公益的機能の高度発揮	環境型 森づくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> ○森林吸収源対策 ○全国植樹祭に向けた森づくり活動の推進 ○里地里山環境保全・利活用
			<ul style="list-style-type: none"> ○気候変動に伴う豪雨等による山地災害への対策 ○獣害対策の総合的な推進 ○病虫害対策による森林・生物多様性保全の推進
共通		<ul style="list-style-type: none"> ○人材（人財）の確保・育成 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○DXによる戦略的林業へのモデルチェンジ 	

第4章 重点施策

【経済型林業・木材産業の推進】

林業・木材産業の成長産業化の実現に向け、川上では増産化・生産性・収益性向上を図るための素材生産力の強化、川中では増産化・商品力強化を図るためのとちぎ材製品の競争力強化、川下では新たな用途・販路を図るための出口対策の強化のほか、きのこ等特用林産物では競争力強化を推進します。

林業・木材産業の成長産業化

取組 1 【川上】素材生産力の強化

- 本質的な森林経営計画の樹立
- 施業集約化の推進
- 伐採方法の（皆伐・間伐）の改革
- 造林保育の改革
- 種苗・苗木生産の計画的推進

取組 2 【川中】とちぎ材製品の競争力強化

- 製材工業の多様化（大規模化・高付加価値化）
- 多品目化・商品力強化
- 大径材活用
- JAS製材品の生産供給強化
- 木材研究施設の強化
- 持続的森林管理を付加価値化とする取組

取組 3 【川下】出口対策の強化

- 住宅・非住宅分野における利用促進
- 木材コーディネーター育成と活用
- 「建築物木材利用促進協定」の締結・制度の活用促進
- 新たな販路開拓（国内・海外）
- 木質資源によるエネルギー利用

取組 4 【川上・中・下】安定需給体制の強化

- 安定需給体制の強化

取組 5 きのこと特用林産物の競争力強化

- 生産振興：経営環境の変化に対応した生産体制の確立
- 販売促進：運ばれる特用林産物づくりへの取組
- 新たなステージを見据えた放射線物質対策

【環境型森づくりの推進】

森林の公益的機能の高度発揮の実現に向け、森林の若返りや里山林整備、CO2吸収源対策などによる多様で健全な森づくりや治山事業、獣害対策などによる災害に強く県民を守る安全・安心な森づくりを推進します。

森林の公益的機能の高度発揮

取組 6 多様で健全な森づくりの推進

- 公益的機能の維持増進に向けた適切な森づくり
- 森林吸収源対策
- 全国植樹祭に向けた森づくり活動の推進
- 里地里山環境保全・活用

取組 7 災害に強く県民を守る安全・安心な森づくり

- 気候変動に伴う豪雨等による山地災害への対策
- 獣害対策の総合的な推進
- 病虫害対策による森林・生物多様性保全推進

第5章 共通施策

林業・木材産業の成長産業化及び森林の公益的機能の高度発揮の実現に向け、林業大学校を中核とした人づくりや未来技術を活用したスマート林業を推進します。

森林の公益的機能高度発揮 林業・木材産業の成長産業化

取組 8 次代を担う人材（人財）づくり～林業大学校～

- 人材（人財）の確保・育成

取組 9 林業・木材産業への未来技術推進～スマート林業～

- DXによる戦略的林業へのモデルチェンジ

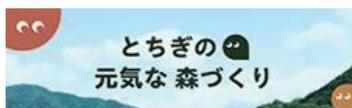
第6章 ビジョンの実現に向けて

指標一覧

重点 施策等	成果 指標	R8-12 (R17を展望)				
		取組指標	単位	基準値 R6	目標値 R12	目標値 R17
「林業・木材産業 の成長産業化」 経済型 林業・木材産業 の推進	林業産出額		億円/年	114 (R5)	131	155
	素材生産量（民有林）		万m ³ /年	53.7	65.0	80.0
	主伐面積		ha/年	479	550	750
	製材品出荷量（国産材）		万m ³ /年	26.9 (R5)	32.1	37.3
	人工乾燥材出荷量（国産材）		万m ³ /年	23.2 (R5)	27.7	32.2
	きのこ生産量		t/年	3,939	4,300	4,700
「森林の公益的 機能 の高度発揮」 環境型 森づくりの推進	適切な森林整備面積（造林・間伐面積）		ha/年	3,644	4,020	4,250
	森林組合による地籍調査面積（累計）		ha	4,150	6,179	8,839
	みどりづくり活動団体数（累計）		団体	454	1,000	1,000
	安全・安心な森づくり面積（累計） （治山施設整備により保全された保安林面積）		ha	358	812	1,112
	山地災害危険地区の治山対策完了箇所数（累計）		箇所	20	40	55
	保安林面積（民有林）累計		ha	82,915	85,200	87,100
	野生獣による林業被害額		億円/年	1.17	0.94	0.75
共 通	新規就業者数（累計）		人	249 (R1-6)	280 (R7-12)	345 (R13-17)
	林業従事者における若年層就業者率（35歳未満）		%	22.9	25	27
	林業大学校長長期課程修了者数（累計）		人	21	90	165
	スマート林業技術導入事業体数		事業体	8	30	—

お問い合わせ先

栃木県環境森林部 環境森林政策課
〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
TEL:028-623-3302 FAX:028-623-3259
e-mail:kankyo-shinrin@pref.tochigi.lg.jp



とちぎの元気な森づくりポータル 検索
元気な森づくりに関する県の取り組みや支援メニュー、ボランティアの案内等を掲載しています。

